

情報公開文書

研究課題名	地域住民における軽度行動障害と孤独感に注目した外来診療の認知症や問題行動の予防効果・早期発見に関する単施設前向き観察研究
所属（診療科等）	国立病院機構舞鶴医療センター 精神科
研究責任者	松岡 照之
研究機関	国立病院機構舞鶴医療センター 精神科
研究期間	研究機関の長の許可日から 2027 年 3 月 31 日まで
研究目的と意義	認知症に至っていない地域住民において軽度行動障害と孤独感に注目して定期的に評価しながら外来診療を行うことで、認知症や問題行動の予防や早期発見につながるのかを明らかにする。早期に対応することが、認知症や問題行動の発症予防や早期発見につながる可能性がある。
研究内容	<ul style="list-style-type: none">●対象となる患者さん； 舞鶴医療センター物忘れ外来を受診した 50 歳以上の認知機能正常、主観的認知機能低下もしくは軽度認知障害の地域住民。●利用する情報； 患者さんの背景（年齢、性別、生活環境など）、質問紙の結果、認知症・問題行動の発生頻度など。本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。●研究の概要・方法； 軽度行動障害、孤独感と認知症、問題行動の関係を調べるために、初診時と以後半年毎に以下の評価項目を測定し、軽度行動障害、孤独感、認知機能、問題行動などを定期的に評価する。軽度行動障害や孤独感に注目する点は通常の外来診療とは異なるが、それ以外は一般的な外来診療を行う。
問い合わせ先	研究担当者氏名：松岡 照之（医師） 国立病院機構舞鶴医療センター 精神科 住所：京都府舞鶴市字行永 2410 番地 電話：0773（62）2680 FAX 0773（63）5332